

# 北九州市の主な公共交通手段と交通ネットワーク

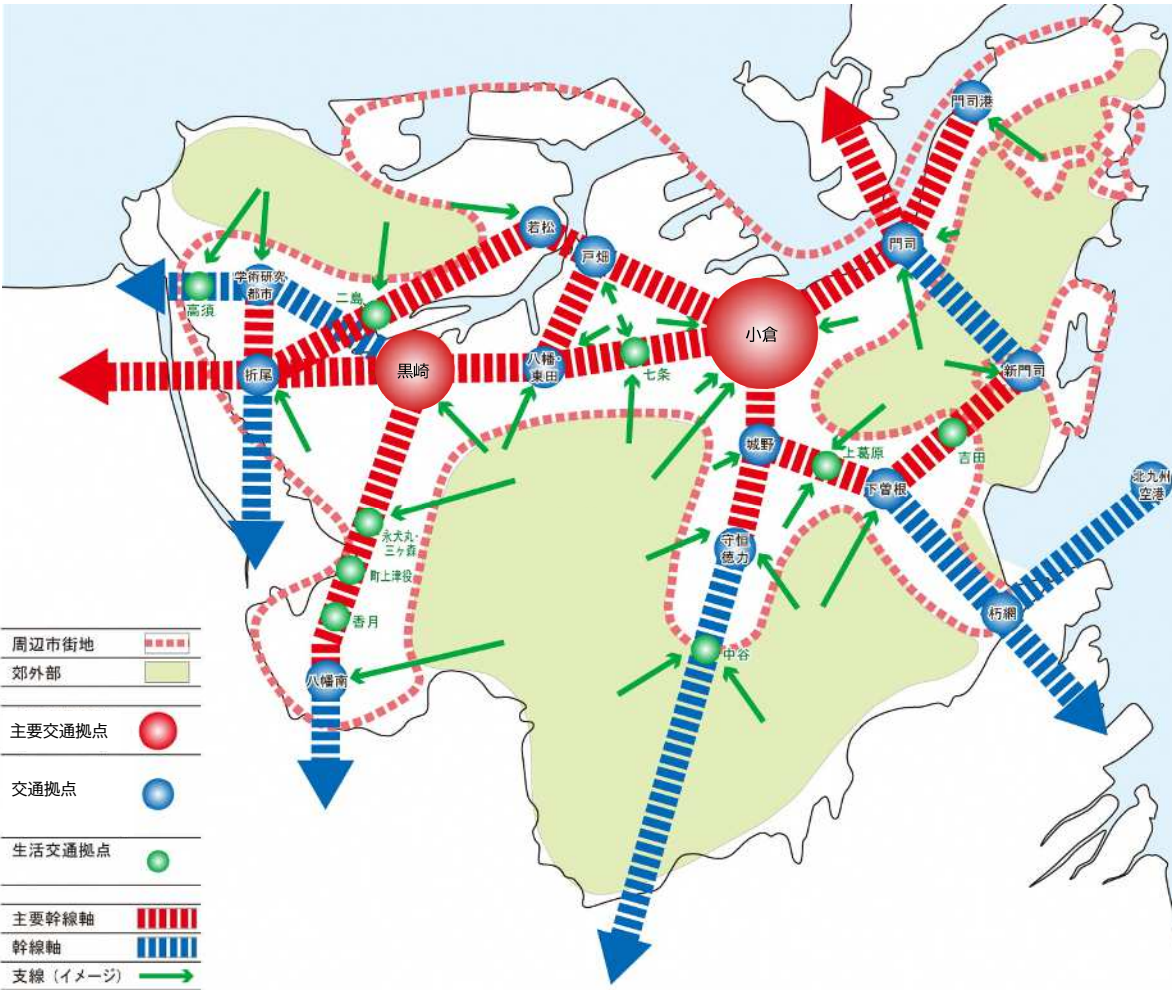
	公共交通手段	役割
大量輸送	鉄道 (山陽新幹線、JR鹿児島本線、JR日豊本線、JR筑豊本線、JR日田彦山線)	市内の主要地点を結ぶ都市内移動と、市外や他県などの広域移動を担う
	軌道 (北九州モノレール)	小倉駅や黒崎駅でJR駅と結節し、都市内及び都市間輸送を担う
	鉄道 (筑豊電鉄)	同上
少量輸送	バス (西鉄バス、北九州市営バス)	鉄道駅等の結節点と接続し、市内の拠点を結ぶ。地域と幹線を結ぶ日常生活路線を担う
	小型バス (西鉄バス、北九州市営バス)	地域内を結び日常生活路線を担う
	おでかけ交通 (ジャンボタクシー・セダンタクシー)	一定の人口が集積する公共交通空白地域の生活交通を確保する
個別輸送	タクシー	個別需要に対応した移動を担う

凡例 (公共交通)		
バス	西鉄バス	— (Green)
	市営バス	— (Purple)
	おでかけ交通	— (Red)
鉄軌道	JR	— (Black)
	筑豊電鉄	— (Blue)
	モノレール	— (Light Blue)

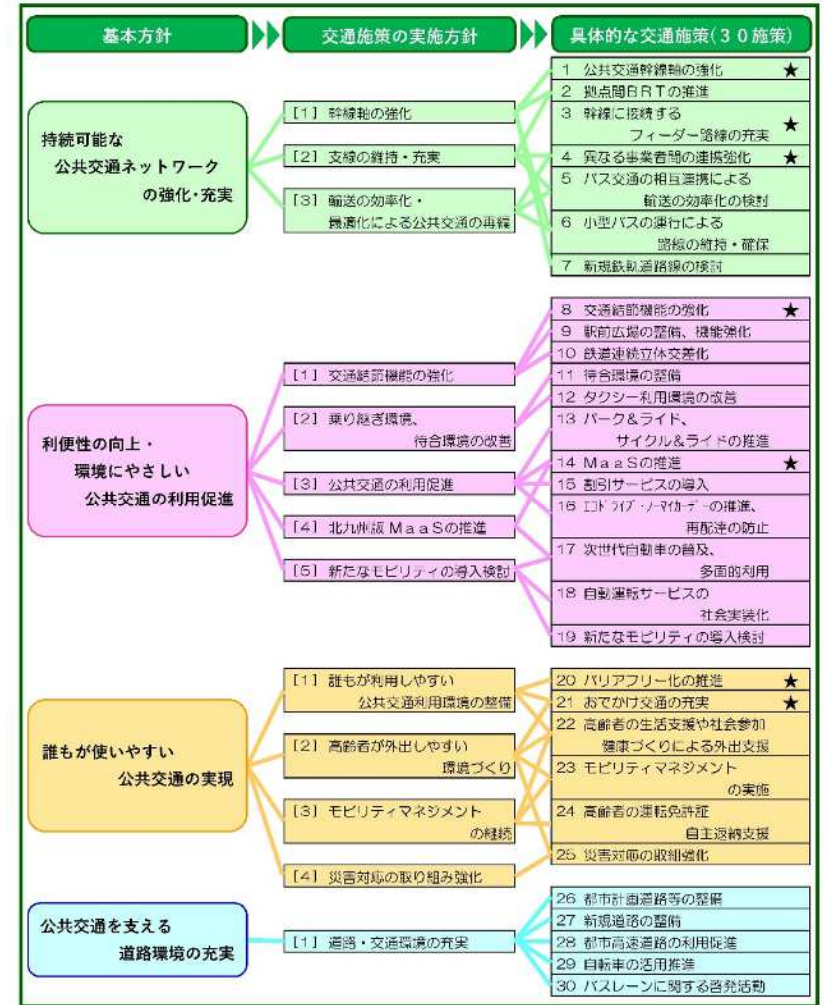
# 北九州市の目指す公共交通ネットワークと交通施策の枠組み

北九州市地域公共交通計画(R4.3)から抜粋

## ■目指すべき公共交通ネットワーク



## ■交通施策の枠組み



# (参考)北九州市における生活交通の確保

おでかけ交通



ジャンボタクシー

# (参考)ドライバー確保に向けた取組「北九州モデル」

【おでかけ交通の地域ドライバー確保】

北九州市

①地域で運転手を募集



交通事業者

②採用試験・教習



地域住民

③おでかけ交通乗務



【業界横断の運転手募集】

イベント



現役運転手座談会



運転体験会



企業別説明会

交通モードを問わず募集

交通業界の課題である運転手不足に  
行政も積極的に関与

運転手の全体数を底上げ



# (参考)異なる交通事業者間の連携の取組

## ■JR九州と西鉄バス北九州「下曽根連携モデル」 (R2. 3開始)



## ■モノレール三萩野駅にバス停時刻案内情報を表示



2026年3月23日

西日本鉄道株式会社  
西鉄バス北九州株式会社  
九州旅客鉄道株式会社

西鉄バス北九州・JR九州が連携し、  
門司駅の窓口隣接および乗務員施設の整備を進めます

西日本鉄道株式会社(代表取締役社長 林田浩一/以下、西鉄)のグループ会社である西鉄バス北九州株式会社(代表取締役社長 吉田透/以下、西鉄バス北九州)は、九州旅客鉄道株式会社(代表取締役社長 古宮洋二/以下、JR九州)との連携施策の一環として、2026年4月23日(木)より、門司駅前に設置している西鉄バス定期券販売窓口をJR門司駅みどりの窓口横に移転し、新たに「門司駅定期券売所」として営業を開始します。また、JR門司駅のバックヤードの一面を西鉄バス北九州の乗務員休憩所として整備し、バスの乗務員の待遇改善およびバス運行の効率化を図ることで、門司駅における交通結節機能の強化に取り組んでまいります。

※門司駅整備イメージ



参考)戸畑駅定期券売所(1例目)



※同社連携のプレスリリース資料抜粋